

臨床研究へのご協力のお願い

金沢医療センターでは、下記の臨床研究を実施しており、「対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] アスベスト関与が疑われる胸部疾患手術例の臨床病理学的検討

[研究責任者] 呼吸器外科 太田安彦

[研究の背景]

日本ではアスベストに関連した中皮腫や肺がんの労災保険制度の認定が少ないとされている。臨床的にも、労災認定に向けて多くの課題を有している現状がある。その一つがアスベスト小体の証明である。2013年5月に当院呼吸器外科にアスベスト専門外来を開設してから約10年が経過した。蓄積された症例をもとに、アスベスト関与の疑われる悪性疾患（原発性肺癌、悪性胸膜中皮腫）が発症し、手術が施行された症例につき臨床病理学的な検討を行うと共に、アスベスト小体の有無につき組織学的に検討を行う。

[研究の目的]

アスベスト暴露後、フォローの経過中に悪性疾患を発症した肺癌および悪性胸膜中皮腫例の臨床的な検討（病理所見や画像所見など）を行う。また、肺組織にアスベスト小体がどの程度確認できるかを検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

アスベスト暴露が疑われ、当院専門外来に受診の患者さんで、2013年5月1日から2023年5月31日の間に手術を受けた方

●研究期間：機関長許可日から西暦2024年12月31日

●利用する試料（血液・組織等の検体）、カルテ等の情報

試料：手術時に切除した肺組織（パラフィンブロック）

カルテ等の情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、CT画像検査）。

●試料や情報の管理

肺のパラフィンブロックは、アスベスト小体を測定するために横浜労災病院アスベスト疾患ブロックセンター（責任者 小沢聡子）に郵送され、測定後は速やかに個人を識別できないように適切に廃棄します。

情報は、研究責任者に郵送で提出され、集計、解析が行われた後、研究責任者が適切に保管・管理します。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する試料や情報を院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は当院のホームページ等で公開されます。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、院内臨床研究部助成金を用いて実施されます。本研究の計画・実施・報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反*は存在しません。

*外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構金沢医療センター

呼吸器外科 太田 安彦

電話 076-262-4161 FAX 076-222-2758